



1 学生支援、更に厚く充実

全学生を対象に、サポート教職員との面談が実施されています。1年生には、入学しての悩みや学び方について、2年生には、就職や進学について具体的なアドバイスが行われました。

面談した宮田八希先生は「入学し不安のある学生達と様々な話をすることが出来ました。これからのサポートに役立てていきたい」と話されていました。1年生の堺高洋（中央高卒）さんは「大学校の学びに早く慣れ、先ず基本情報技術者試験に合格したい」と話していました。

本年度から、事務手続きが学務グループに一本化され、より円滑な学生支援につながる事が期待されています。



昼休みの面談風景

2 日本に留学して1年! ①

インドネシアからの留学生も二年目を迎えました。生産管理コース2年のディアナさんに、留学して一年の感想を聞いてみました。

Q1 本校でIT専門技術は学べていますか?
A1 日本語でITを学ぶ苦労もありましたが「基本情報技術者試験」に合格できて良かった。生産管理コースでもっと頑張りたい。

Q2 日本語の勉強は如何ですか?
A2 茨城大学名誉教授の金本節子先生にご指導いただき、N1合格に向け勉強しています。

Q3 コンクール金賞、おめでとうございます。

A3 IT短大をはじめ皆さんから応援を頂き、外国人による日本語スピーチコンテストで金賞となりました。ありがとうございます。



金賞を受賞したディアナさん



日本語指導の金本先生とディアナさん(右)

3 みんなの母校訪問④

県立勝田高等学校、勝田中等教育学校

令和3年に「勝田中等教育学校」が開校し、勝田高等学校は、新たな未来への第一歩を踏み出しています。これまでも地域の発展を支える人材を多数輩出しています。本年度、文部科学省のDXハイスクールに指定され、本校との連携も強化されます。

下山田芳子校長から「グローバルな視野と、夢を持ってチャレンジ!」とエールを頂きました。



下山田芳子校長

4 『記事トレ』紹介

本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事＞ 読売新聞(2024年4月30日)
「学ぶ育む」仲間と共に社内勉強

●清水響暉さん(勝田工卒)

◇要約: 学びを続ける社員を増やすには、自主性と、一緒に取り組む仲間が必要。仕事の引き出しが増え、お客さんが喜んでくれる機会が増えモチベーションにつながる。学びは社員個人の幸せの実現に必要な大切な要素である。

◇感想: 学びを続けていく中で、一人で学んでいくよりも、同僚や組織で高め合う仲間がいたほうが学び続けられることが分かった。学びは自分が思う幸せを実現させるため必要なので、これからも学び続けたいと思う。

●馬場晃一さん(勝田工高卒)

◇要約: 社員で学びを続けることにより、仕事の幅やモチベーションの増加につながっている。

しかし、学ぶためにはまず個人の学ぶ興味に火をつけることと、仲間と共に学んでいく体制や、学ぶ上での費用の補助が必要である。

◇感想: たとえ社会人になった後だとしても、興味を持つことや、課題解決に向けて学ぼうとする気持ちが重要であると感じた。また、学ぶ上での心の支えとなる仲間の存在が重要であることが伝わってきた。

